

地区戦略計画委員会

戦略計画委員会 委員長 水村 雅啓 (入間RC)



1. ロータリーのビジョン声明と行動計画

2019年、「ビジョン声明」と今後5年間の「行動計画」(Action Plan)からなる新しい戦略計画を発表しました。

〈ビジョン声明〉

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取りあって行動する世界を目指しています。

ビジョンの目的は、組織を強化し、ロータリーの価値観を守り、これからも長期的に繁栄していくため、未来の方向性を定めることです。

《ロータリーの行動計画》

親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップという価値観を礎に、過去を称えながら未来を受け入れ、ロータリーが時代に即した組織としてさらに発展し、進化していくための指針となるのが行動計画です。

《四つの優先事項》

1. より大きなインパクトをもたらす (効果的なプロジェクト…)
2. 参加者の基盤を広げる (のあらゆる活動においてDEIを受け入れ実践…)
3. 参加者の積極的なかかわりを促す (会員であるかどうかを問わずにかかわるすべての人と…)
4. 適応力を高める (組織の適応力など運営方法の改善…)

2. 3年間の目標と計画 2024.7から

3年間の目標と計画 (3-Years Rolling Target / Plan) は、ゾーン、地区、およびクラブに対する3年間の目標とローリングターゲット (年度ごとに見直す) プランです。目標設定の具体的項目は「ロータリーの行動計画 (方針)」の4つの優先事項に基づいておこないます。

プログラムの評価は2027~28年にかけて行います。

達成可能な目標を立てた上で、進捗状況を随時確認し、状況に応じて調整を加えていきます。

●具体的な取り組み (クラブ)

- ・3年間の目標入力と管理は、「クラブセントラル」でおこないます。まずは次年度の目標を入力してみましょう。
- ・3年間の目標を設定するためには、向こう3年間の会長候補者や委員長、理事会などを巻き込んだ議論が必要になります。場合によっては委員長の任期を複数年にするなど、より継続性を担保する方法をクラブの新しい文化として取り入れる必要があるかも知れません。
- ・3年間の目標を立てたら、毎年目標の達成度を検証し、必要に応じて次年度以降の目標を再設定して下さい。

3. 地区の戦略計画

① 委員会の目的

ロータリーは毎年リーダーが代わるため、主たる方針が変わることを防がなければなりません。特に重要項目の達成に向けては確実な方向性を持ち続ける必要があります。この機能が戦略計画委員会であると考えます。2026-2027年度は、「3年間の目標と計画」の最終年度です。「当地区における改善の必要な分野の検討と対策」を実行し、永続的繁栄を追求することを目的にします。

② 地区戦略計画 優先項目 2024-2027

地区では、2024-2025年度（五十幡年度）に、以下の通り、地区の戦略計画優先項目を作成しました。

地区の目的は、ロータリークラブを強化し支援することである。地区が特定の奉仕プロジェクトやプログラムを完遂することは必須とされてはいないこと（章典17.010.1）を十分に理解し活動する

1. ロータリークラブの支援

- ・クラブ戦略計画立案のサポートをする
- ・定款、細則の見直しを推進する
- ・会員増強と維持…DEI（多様性、公平性、インクルージョン）を推進し、あらゆる人が歓迎されるクラブをつくる

2. ロータリー財団への支援と活用

- ・ポリオの根絶に向けた活動を推進する。
- ・財団への寄付と活用を奨励する。

3. 公共イメージの向上

- ・地区クラブのIT化を図る
- ・地区ホームページの充実を図る

4. ラーニング

- ・学習機会を拡大する
- ・地区、クラブのリーダー及び3年未満会員の研修を実施する

5. 地区のガバナンス

- ・地区の組織や運営を効率化、合理化する
- ・会計の透明性を図る

注) この戦略計画は3年間の計画であるが、状況に対応し毎年見直しする

4. 2026-2027年度 委員会活動

「地区戦略計画 優先項目」に沿い、原島ガバナーエレクトの方針を踏まえ以下の活動を行います。

- ①地区運営が共通の認識を持って、健全で、より発展的に実施されるために、地区運営マニュアルを作成する。
- ②クラブが将来のビジョンを明確化する「クラブ戦略計画」の立案をサポートする。
- ③「My Rotary」の活用とロータリー情報を地区、クラブのより良い活動のために提供し役立てる。
- ④地区リーダーであるガバナーエレクト、デジグネートのスムーズな選出を行うシステムを構築する。